

### 3. 武生市文化センター／武生国際音楽祭

武生市文化センターを中心に開催される「武生国際音楽祭」は、民間ボランティアによる実行委員会によって運営されている。各実行委員の役割など文化施設主導型のボランティア活動とは運営のしくみが異なるだけでなく、フェスティバルという年間のある一定期間に集中した事業に対するボランティアである点にも注目したい。

#### 施設・運営の概要

運営母体	(財)武生市文化振興財団・施設管理事業団
所在地	福井県武生市高瀬 2-3-3
TEL	0778-23-5057
FAX	0778-21-1975
開館年月	1980年9月
複合形態	複合館
施設特性	多目的ホール
座席数	大ホール 1196 席、中ホール 726 席 小ホール 220 席
自主事業予算	年間 1,000 万円（国際音楽祭は除く）
自主事業数	年間約 10 本（ 〃 ）
立地都市人口	70,161 人
組織体制	9 名（総務 3、企画 2、技術 3、その他 1）



#### ボランティア制度の概要

名称	・武生国際音楽祭推進会議（毎年9月に組織）
導入時期	・1990年
登録人数	・60名
導入の経緯	・第1回武生国際音楽祭開催のための実行委員会（武生市主導）が組織され、その委員会に市民がボランティアとして参画していた。その後次年度以降の音楽祭継続に向けて、ボランティアのみの実行委員会を組織。実質的な音楽祭の実施・推進・主催団体となる。
活動内容	・企画・制作、広報・宣伝、受付・案内、教育普及活動
募集方法	・公募（音楽祭開催中のチラシ、市の広報等）、口コミ
研修	・特になし
実費支給	・なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武生市文化センター内に推進会議の事務局を設置。ボランティアコーディネーターが総括。</li> <li>・①音楽祭開催前、②音楽祭中、③音楽祭後の3段階に分けて体制・業務内容を整理。</li> <li>・国際音楽祭の予算は4,500万～5,000万円。財政的な責任まで全て推進会議で負う。</li> <li>・会員制の任意団体から、財団化・社団化などの法人化の可能性を模索している。</li> </ul>